

4・15年金ストライキ・連帯集会 行動決議案

2004年4月15日

行動名・集会名

私たちは本日、年金保険料の引き上げ、給付の削減を将来にわたって国会審議もなく毎年おこなう仕組みを作る改悪法案の廃案を目指して、国民諸階層と共同して、ストライキをはじめ多様な行動に全国の職場・地域から決起した。

04年春闘の最大の対決点としてきた「年金改悪法案」が、**8**割の国民が反対しているにもかかわらず政府与党は審議入りを強行し、連休前の衆議院通過をねらう緊迫した国会情勢を迎えている。

このような情勢のなか、全労連・春闘共闘の多くの組合員が「始業時」「夕方」「時間くいこみ」のストライキ（指名スト含む）に決起した。また、早朝・昼休み・始業時などの職場集会、休暇闘争や宣伝行動など「すべて組合員の参加と国民的共同を広げよう」を合言葉に、**47**都道府県で国民諸階層と共同した実行委員会などのとりくみで、年金相談や個人請願、宣伝・署名、座り込み、メール送信、集会・年金行進など多彩な行動が予定され、小泉首相への抗議文が多数送られている。「今度の年金法案は国民に不評」などの声が自民党のなかからも出ており、参議院選挙を前にして国会の中に動揺が広がっている。

私たちは、本日のこの行動を通して政府に、生存権まで踏みこむ制度発足以来最悪の年金改悪法案の廃案めざして、断固たたかひぬく決意である。

私たちは、平和原則と生存権・基本的人権を権利として保障する憲法を守り、有事法制阻止・自衛隊のイラク派兵即時撤退を求めるとともに、「誰もが安心の最低保障年金制度の確立」と消費税などの大増税計画許すなとの国民的共同を進めていくことを決議する。